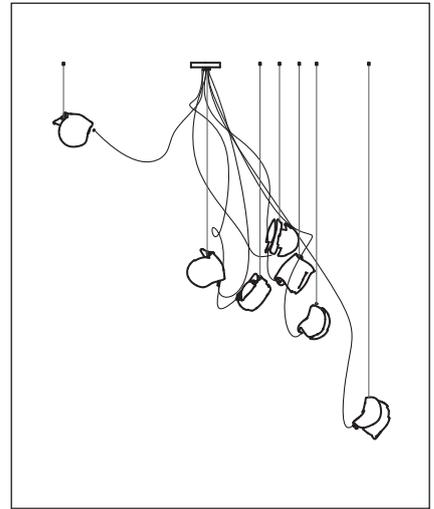


141.3/141.7 Sculptural Cable

[屋内用ペンダント]

- このたびは、お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくご覧のうえ、正しくご使用ください。
- 電源の工事が必要な器具については、専門の工事店におまかせください。
- 万一破損したり、異常を感じた場合は、速やかに電源を切りお買い求めの販売店にご相談ください。
- 電気工事店の方へ**：取り付け工事が済みましたら、この説明書を必ずお客様にお渡しください。
- お客様へ**：この説明書は必ず保管してください。
- 本品の規格及び外観は改良のため予告なく変更する場合がございます、ご了承ください。



Design by Omer Arbel

取り付けについての安全上のご注意

⚠ 警告	
	<p>火災のおそれがあります</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇電気工事は、電気設備基準にしたがって確実に行ってください。 ◇電源接続の際は、取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。
	<p>落下によるけがのおそれがあります</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇取り付けは取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。 ◇器具の取り付けは、取り付ける場所の強度を確認し、質量に耐えるところに確実に行ってください。強度が不足している場合は、補強工事をしてから取り付けてください。 ◇器具は指定の取付方向に取付けてください。
	<p>感電のおそれがあります</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇工事が完了するまでは、必ず電源を切っておいてください。 ◇アース工事が必要な器具は、電気基準設備及び内線既定にしたがって確実に行ってください。
	<p>落下によるけがのおそれがあります</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇取付部のまわりに極端な突出部のある所に、器具を取り付けしないでください。

⚠ 注意

- ◇電気工事は電気工事店(有資格者)におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
- ◇器具に表示された定格電圧以外の電圧で、使用しないでください。
定格電圧を越えた電圧でご使用になりますと**火災の原因**となります。
- ◇取り付けした器具を説明書に従わず無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。
器具落下によるけがの原因となることがあります。
- ◇灯具の着脱は両手で静かに扱い、取り付けは確実に行ってください。**落下によるけがの原因**となります。
- ◇調光器に対応していない器具は、調光器を使用しないでください。**火災の原因**となります。
- ◇この器具は屋内用器具ですが、風呂場等の湿気や水気の多い場所では使用できません。
屋外では使用しないでください。**感電・火災の原因**となります。
- ◇器具取り付けの際に、壁紙・クロス貼り等の接着剤等が十分乾燥してから器具を取り付けてください。
メッキや塗装等の**変色や、さびの原因**となります。

屋内用

▶ 目次

- 1 ページ：表紙、姿図
- 2 ページ：目次、テクニカルデータ、同梱部品
取付面図、器具サイズ
- 3 ページ：灯体について、コードの出る位置
- 4～7 ページ：灯体の組立方法 [コード・下出し] タイプ

- 7～10 ページ：灯体の組立方法 [コード・上出し] タイプ
- 11～12 ページ：天井取付部の組立方法 [フランジ]
- 13～15 ページ：天井取付部の組立方法
[サスペンションワイヤー吊り]
- 15 ページ：ランプ交換の方法、お手入れ方法
- 16 ページ：照明器具ご使用についての安全上のご注意
アフターサービス

▶ テクニカルデータ

使用電圧	周波数	ランプ (1灯当り)	質量	調光
AC100V	50Hz/60Hz	LED 12V2W、185lm、2500K、CRI 90	[141.3] 19.7kg [141.7] 44.1kg	不可

※専用トランス同梱。

※ランプはこの器具の専用球です。交換の際は販売店でご購入ください。

▶ 同梱部品 [灯具・取付部品]

- ① ランプ・ ([141.3] 3個/[141.7] 7個)
LED球 12V 2W (専用ランプ)
- ② フランジセット・ 1式
- ③ プロテクションリング・ ([141.3] 3個/[141.7] 7個)
- ④ コード・ 1式
- ⑤ コードストッパー・ 1個
- ⑥ トランス・ 1式
- ⑦ 灯具セット・ ([141.3] 3個/[141.7] 7個)
- ⑧ ガラスディフューザー・ ([141.3] 3個/[141.7] 7個)
- ⑨ 六角レンチ (2mm)・ 1本



▶ 同梱部品 [ディフューザーアンカーキット関連部品]

【コンクリート取付用】

- ① 取付金具・ (必要数) 
- ② 固定金具・ (必要数) 
- ③ サスペンションワイヤー・ (必要数) 
- ④ ノックピン・ (必要数) 

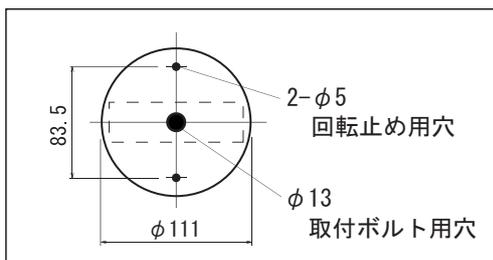
【木材取付用】

- ① 取付金具・ (必要数) 
- ② 固定金具・ (必要数) 
- ③ サスペンションワイヤー・ (必要数) 

【その他 オプション】

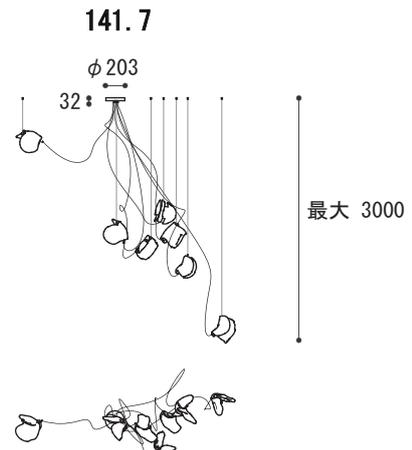
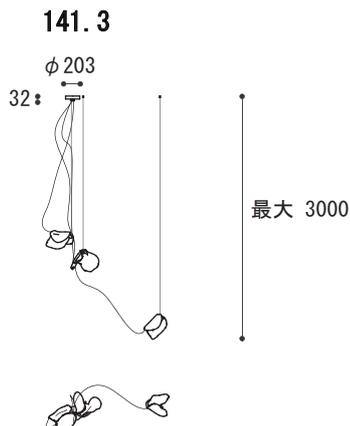
- ① 下部セット・ (必要数) 
- ② ワイヤーストッパー・ (必要数) 

▶ 取付面図



▶ 器具サイズ

単位：mm



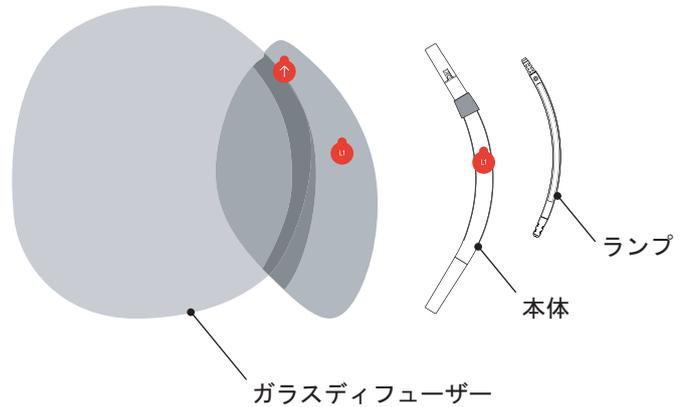
灯体について

灯体は、ガラスディフューザー、本体、ランプで構成されます。

※ランプは本体に内蔵した状態で出荷されています。

特に必要ない限り、ガラスディフューザーから本体とランプは取り外さないで下さい。

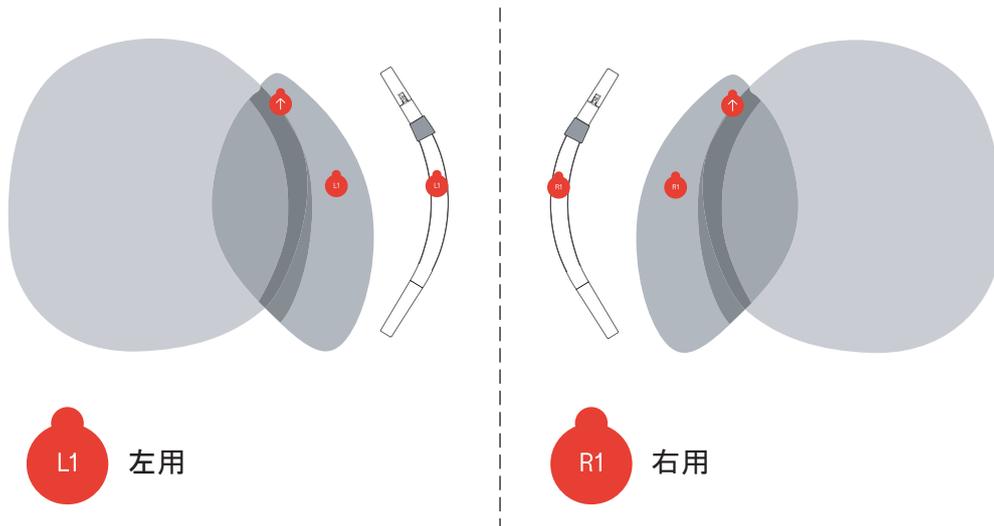
(本取説は、本体とランプをはずしてしまっただけの場合を想定して解説しています。)



※灯体は、『左用』と『右用』の2種類があり、本体とペアになっています。

△注意 取付時に部品を混同させないようにしてください。

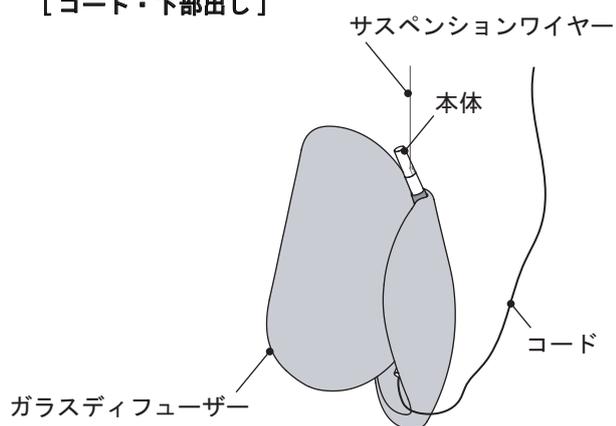
・取付方法は、『左用』と『右用』どちらも同様です。



コードの出る位置

本体から出るコードは、[下部出し]と[上部出し]の2種類があります。お好みのスタイルでお選びください。

[コード・下部出し]



[コード・上部出し]

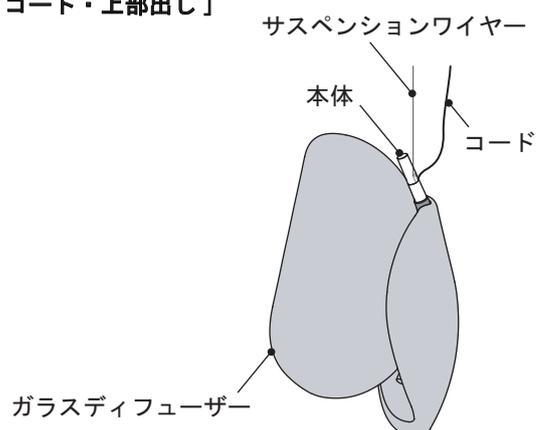


図1

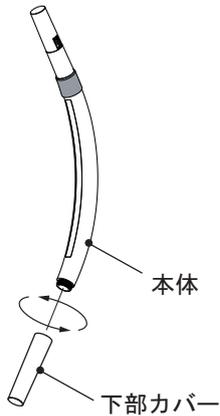


図2

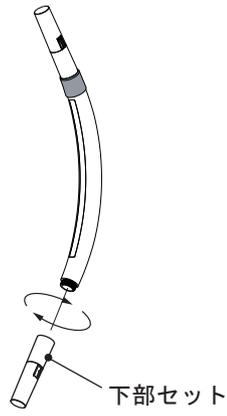


図3



図4

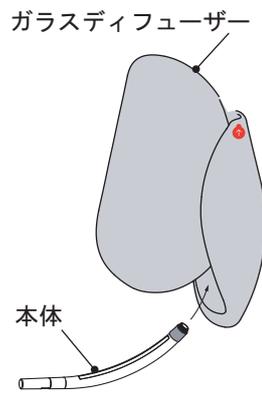


図5

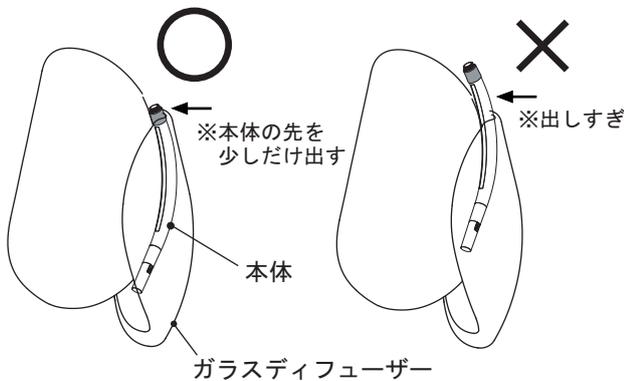


図6

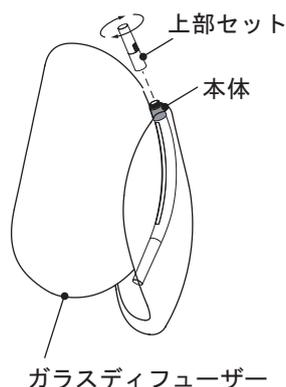
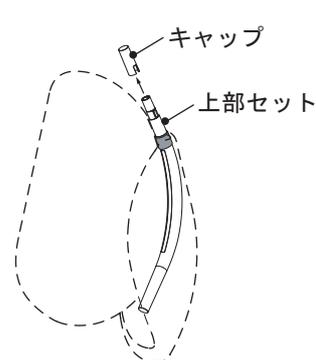


図7



▶ 灯体の組立方法

[コード・下出し] タイプを組み立てる

- 1 下部カバーを外す。 (図1参照)
 - ・下部カバーを回して、本体から外してください。

- 2 下部セットを取り付ける。 (図2参照)
 - ・下部セットを回して、本体に取り付けてください。

- 3 上部セットを外す。 (図3参照)
 - ・上部セットを回して、本体から外してください。

- 4 本体をガラスディフューザーに差し込む。 (図4参照)
 - ・ガラスディフューザーには、本体が収まる貫通穴が開いていて、穴の大きな方が [下側] です。
 - ・本体は下の穴から上に通してください。

- 5 本体の先を少しだけ出した位置にする。 (図5参照)

- 6 上部セットを本体にねじ込む。 (図6参照)
 - ・上部セットがガラスディフューザーに当たってしまい上手く回せない場合は、本体を引いたり、押し込んだりしながら、回せる位置を探してください。

- 7 上部セットからキャップを外す。 (図7参照)

図8

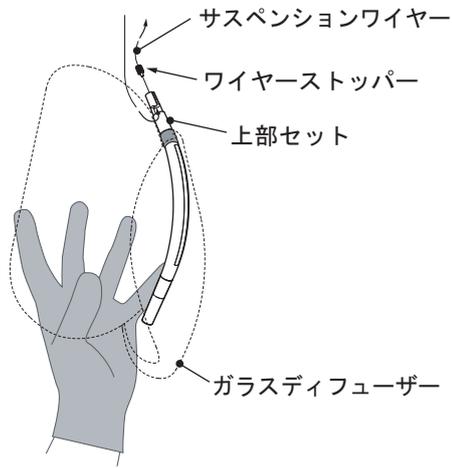


図9

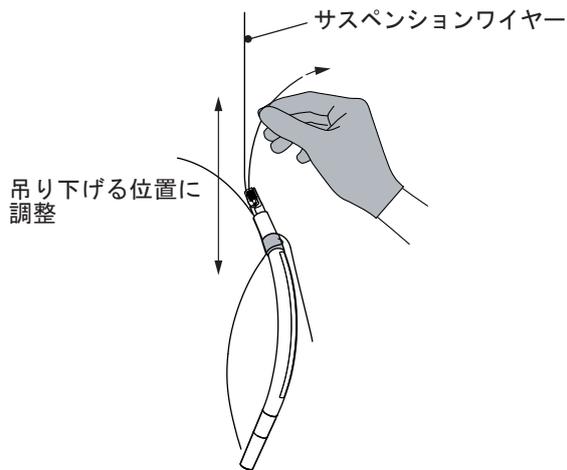


図10

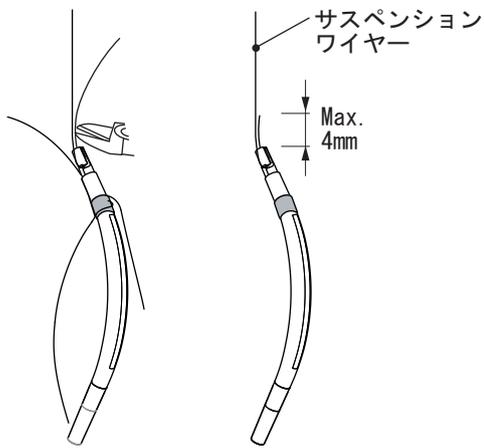
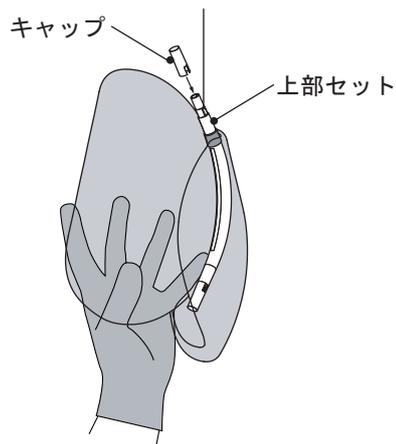


図11



8 サスペンションワイヤーを通す。(図8参照)

- ・サスペンションワイヤーを上部セットとワイヤーストッパーに通してください。

9 サスペンションワイヤーの長さを調整する。(図9参照)

10 余分なサスペンションワイヤーをカットする。(図10参照)

- ・残りのワイヤーは4mmまでとしてください。

11 キャップを取り付ける。(図11参照)

- ・取付順序7で外したキャップを上部セットに差し込んでください。

図 12

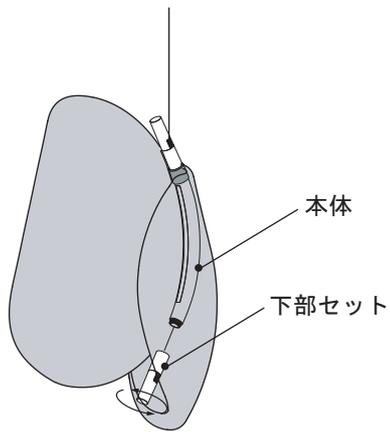


図 13

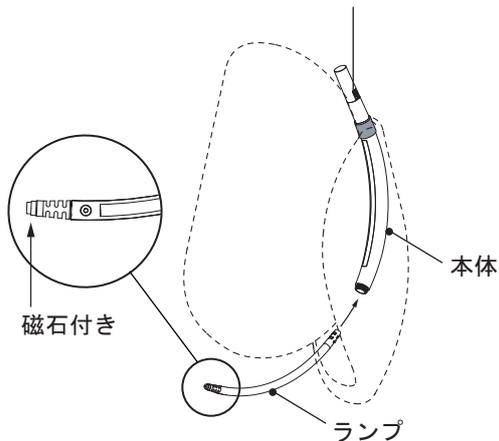
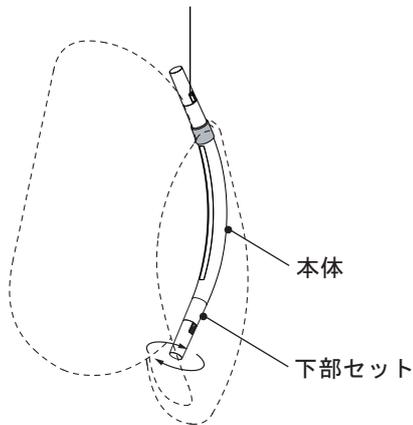


図 14



12 下部セットを外す。 (図 12 参照)

- ・下部カバーを回して、本体から外してください。

13 本体にランプを差し込む。 (図 13 参照)

- ※ランプは、出荷時点で本体内に同梱されている場合もあります。

14 下部セットを取り付ける。 (図 14 参照)

- ・取付順序 12 で外した下部セットを本体にねじ込んでください。

15 下部セットからキャップを外す。 (図 15、①参照)

16 下部セットにねじ込まれているイモネジをゆるめる。 (図 15、②参照)

- ・六角レンチ(別途)を使って、イモネジをゆるめてください。

- ※イモネジは、ゆるめるのみで、はずさないでください。

17 コード固定金具を外す。 (図 15、③参照)

- ・イモネジをゆるめると、下部セットの先に固定されていたコード固定金具が抜けます。

18 コード先端金具を下部セットに差し込む。 (図 15、④参照)

19 コード固定金具を差し込む。 (図 15、④参照)

- ・取付順序 17 で外したコード固定金具を下部セットに差し込んでください。

20 コード固定金具を固定する。 (図 15、⑤参照)

- ・取付順序 16 でゆるめたイモネジをねじ込んで、コード固定金具を固定してください。

- ※イモネジは、ネジ先端にある突起が外に出るまでねじ込んでください。

- ※この際、イモネジをしめ込みすぎると突起が出すぎてキャップがセットできなくなります。

図 15

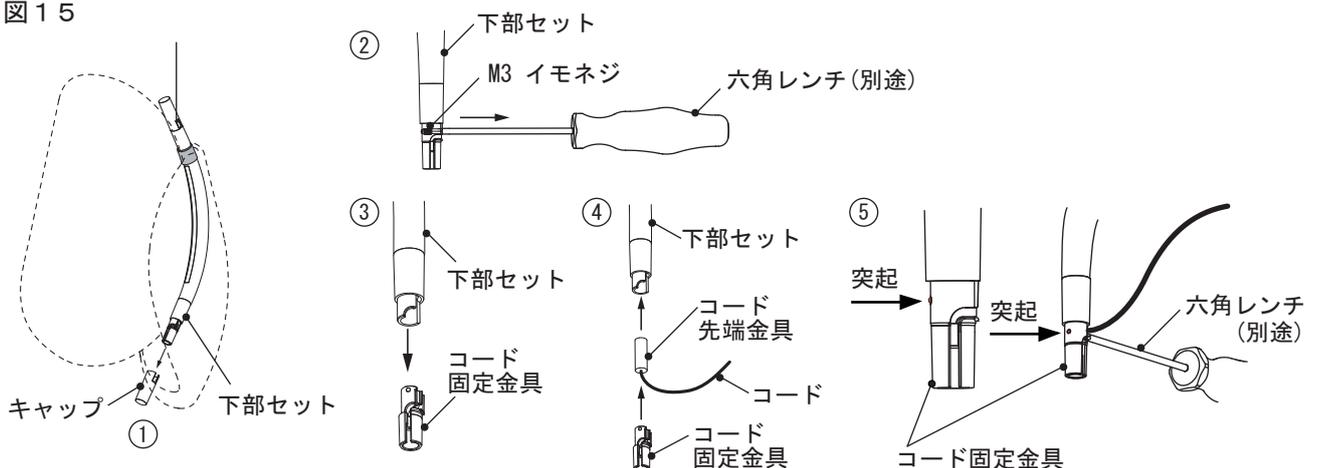
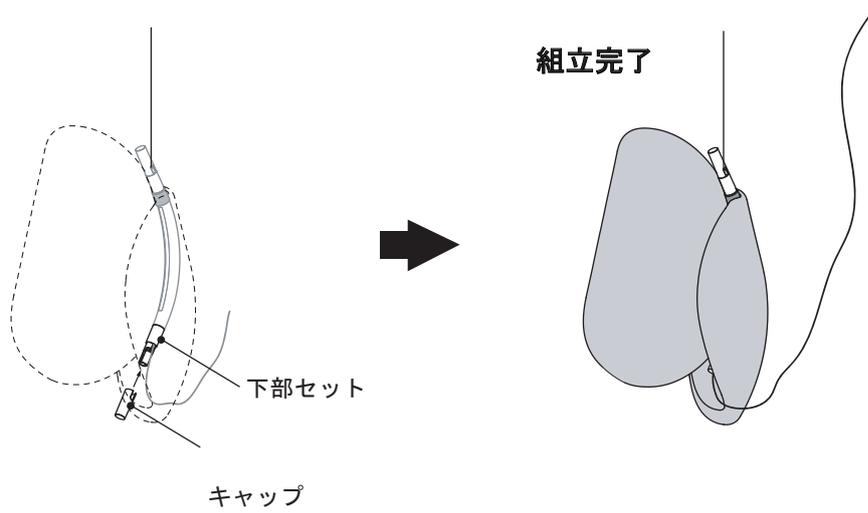


図 16

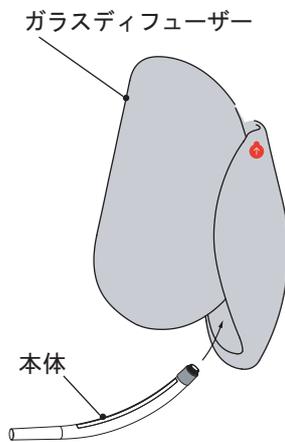


- 2 1**
キャップを取り付ける。 (図 16 参照)
 ・ 取付順序 15 で外したキャップを下部セットに差し込んでください。

図 17



図 18



[コード・上出し] タイプを組み立てる

- 1**
上部セットを外す。 (図 17 参照)
 ・ 上部セットを回して、本体から外してください。

- 2**
本体をガラスディフューザーに差し込む。 (図 18 参照)
 ・ ガラスディフューザーには、本体が収まる貫通穴が開いていて、穴の大きな方が [下側] です。
 ・ 本体は下の穴から上に通してください。

- 3**
本体の先を少しだけ出した位置にする。 (図 19 参照)

図 19

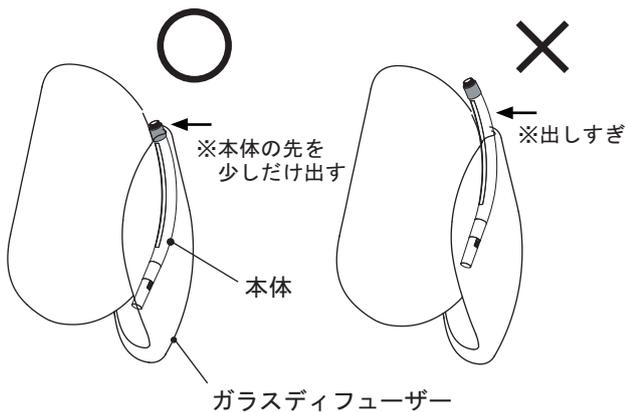
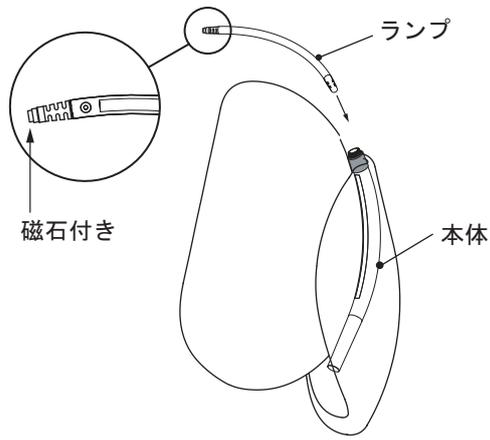


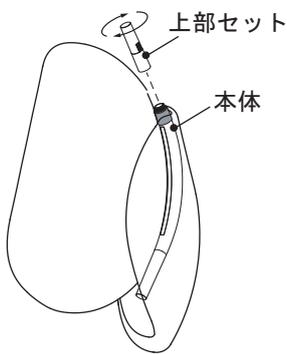
図 20



4
本体にランプを差し込む。 (図 20 参照)

※ランプは、出荷時点で本体内に同梱されている場合もあります。

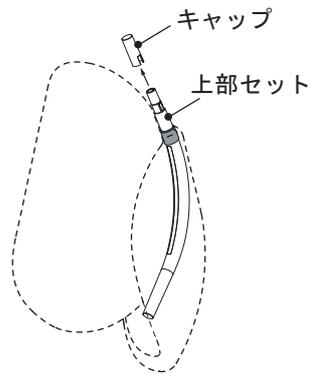
図 21



5
上部セットを取り付ける。 (図 21 参照)

・取付順序 1 で外した上部セットを本体にねじ込んでください。

図 22



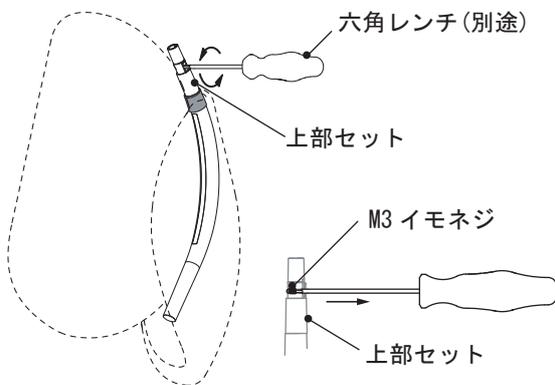
6
上部セットからキャップを外す。 (図 22 参照)

7
上部セットにねじ込まれているイモネジをゆるめる。 (図 23 参照)

・六角レンチ(別途)を使って、イモネジをゆるめてください。

※イモネジは、ゆるめるのみで、はずさないでください。

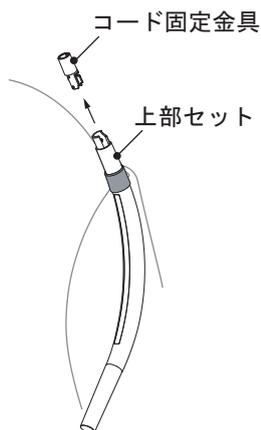
図 23



8
コード固定金具を外す。 (図 24 参照)

・イモネジをゆるめると、上部セットの先に固定されていたコード固定金具が抜けます。

図 24



9
コード先端金具を上部セットに差し込む。 (図 25 参照)

図 25

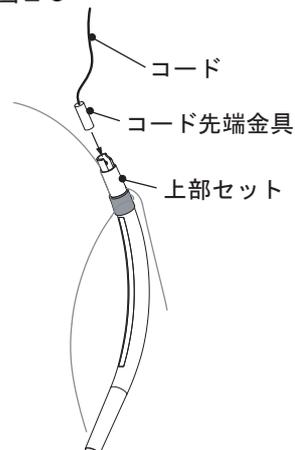


図 26

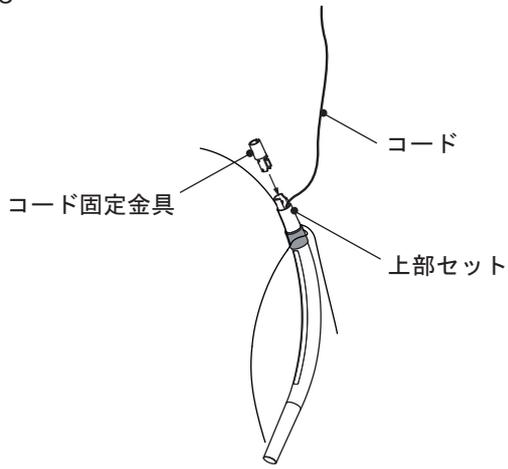
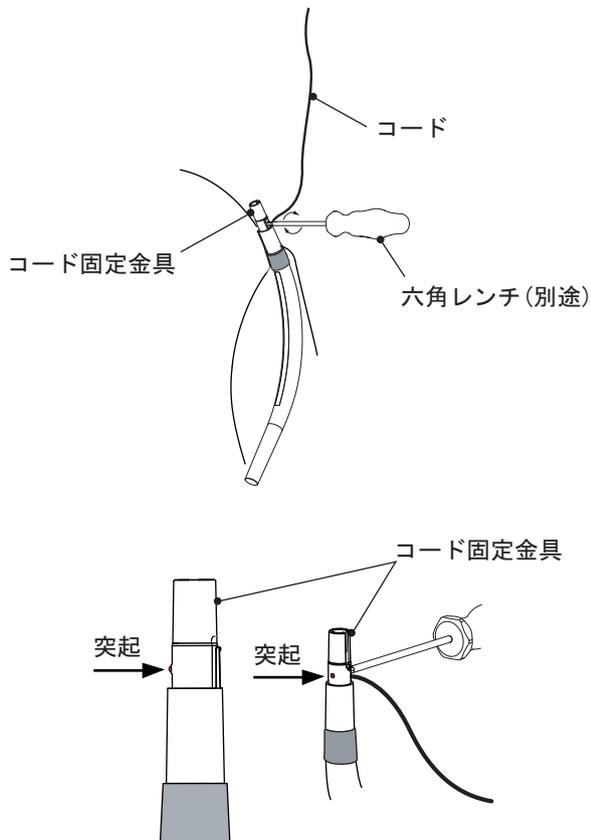


図 27



10
コード固定金具を差し込む。 (図 26 参照)

- ・取付順序 8 で外したコード固定金具を上部セットに差し込んでください。

11
コード固定金具を固定する。 (図 27 参照)

- ・取付順序 8 でゆるめたイモネジをねじ込んで、コード固定金具を固定してください。
- ※イモネジは、ネジ先端にある突起が外に出るまでねじ込んでください。
- ※この際、イモネジをしめ込みすぎると突起が出すぎてキャップがセットできなくなります。

図 28

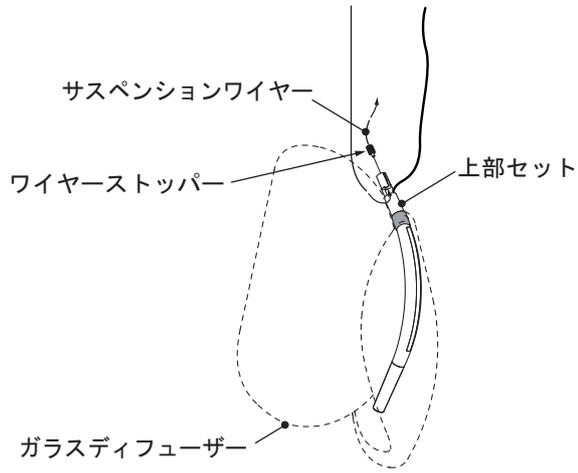


図 29

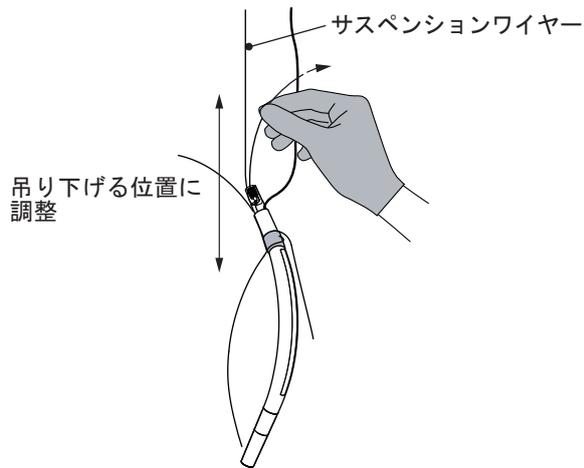


図 30

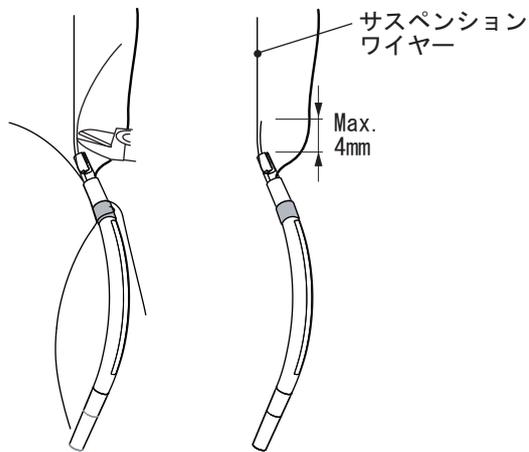
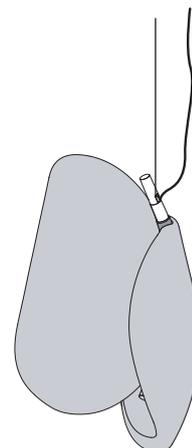
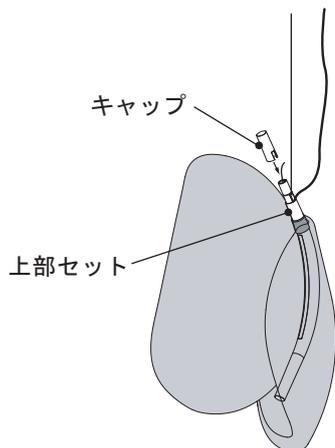


図 31



組立完了

12 サスペンションワイヤーを通す。(図 28 参照)

- ・サスペンションワイヤーを上部セットとワイヤーストッパーに通してください。

13 サスペンションワイヤーの長さを調整する。(図 29 参照)

14 余分なサスペンションワイヤーをカットする。(図 30 参照)

- ・残りのワイヤーは 4mm までとしてください。

15 キャップを取り付ける。(図 31 参照)

- ・取付順序 6 で外したキャップを上部セットに差し込んでください。

図 3 2

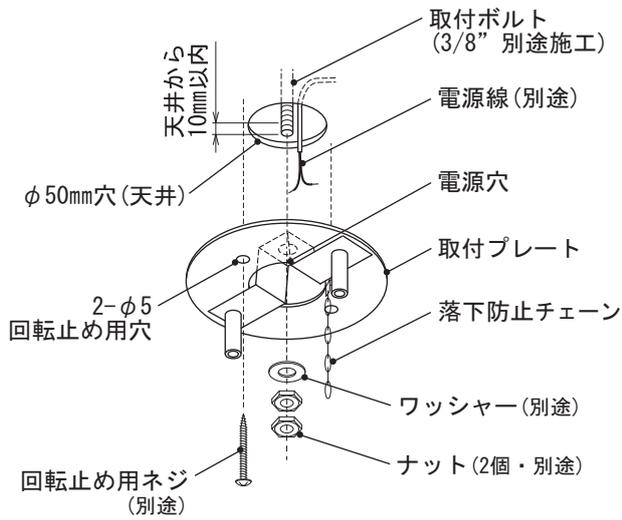


図 3 3

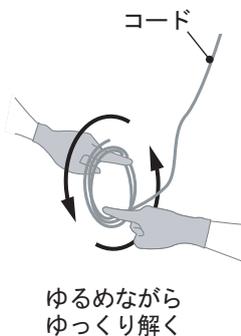


図 3 4

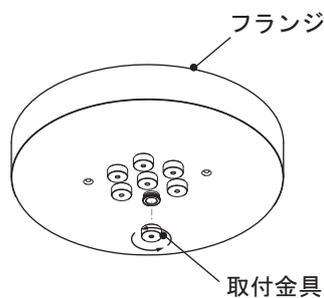


図 3 5

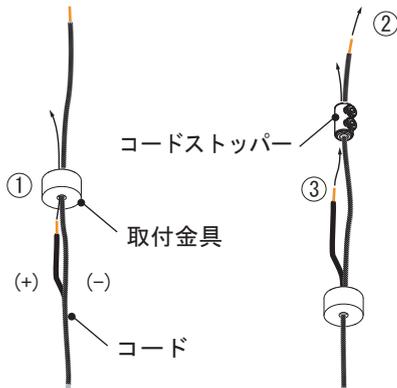


図 3 6

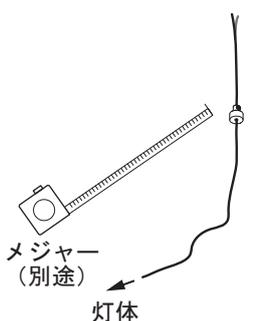
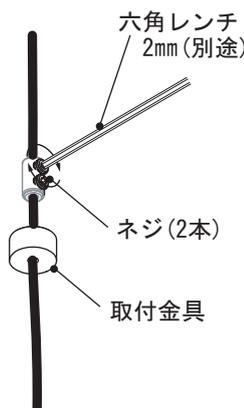


図 3 7



▶ 天井取付部の組立方法 [フランジ]

■ 取り付けの前に

- ・ 取付場所は器具の質量に耐えられるよう補強をしてください。
- ・ 取付場所に取付ボルト (3/8"、別途施工) を設置してください。

※取付ボルトは、天井から 10mm 以下の長さにしてください。
長いとフランジに当たり、取り付けができなくなります。

- ・ 天井にφ50mmの穴を開け、電源線 (別途) を引き出してください。

1 天井に取付プレートを取り付けます。 (図 32 参照)

- ・ 電源線 (別途) を取付プレートの電源穴に通してください。
- ・ 取付プレートを天井に押し上げ、ワッシャー (別途) とナット (2 個・別途) で確実に固定してください。
- ・ 回転止め用ネジ (別途) を天井にねじ込んでください。

2 コードをゆるめながら、ゆっくりと解く。 (図 33 参照)

※コードは繊細です。巻きに逆らって解くと、折目ができる可能性がありますので、十分に気をつけて解いてください。

3 フランジから取付金具をはずす。 (図 34 参照)

- ・ 取付金具を回して、フランジから外してください。

4 コードに取付金具とコードストッパーを通す。 (図 35 参照)

- ・ コードストッパーは取付金具に触れる位置にしてください。

5 コードの長さを決める。 (図 36 参照)

- ・ 取付金具から下が、コードを吊り下げる長さになります。
- ・ 吊り下げるコードの長さを、メジャー (別途) で計測しながら決めてください。
- ・ 長さが決まったら、マスキングテープ等でしるしを付けておいてください。

※ガラスディヒューザー同士がぶつからないように、それぞれの長さ調整をし、お好みのバランスで決定してください。

6 コードストッパーを固定する。 (図 37 参照)

- ・ 六角レンチ (別途) を使ってコードストッパーのネジ (2 個) を締め付け、コードにコードストッパーを固定してください。
- ・ ネジを締め付けた後、しっかりと固定されているかどうか確認してください。

図 38

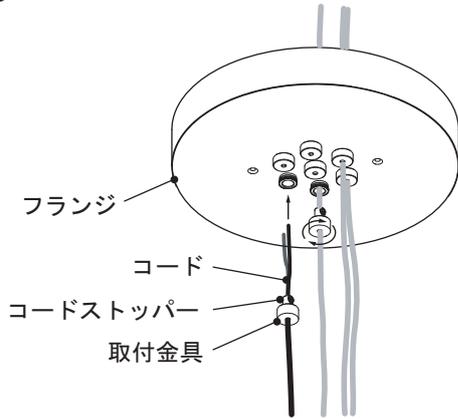


図 39

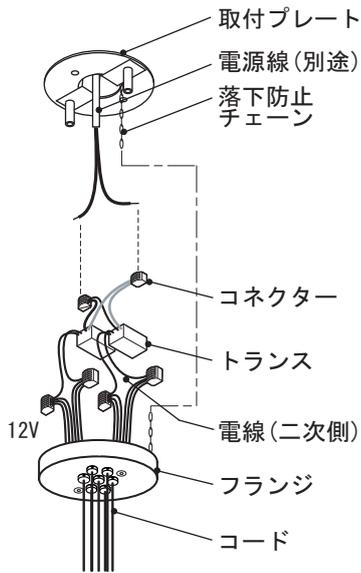
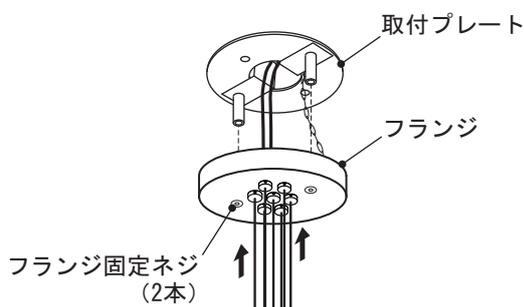


図 40

コードカットの方法		
<p>① コードを希望の長さにカットします。 この時、長さ調整のために余裕を持ってカットして下さい。</p>	<p>② 2線に分けます。 まず、コードを片手でしっかりと持ち、外側の網目状の電線を縮めるようにして緩めます。</p>	<p>③ 網目状の電線の網目を手で広げます。</p>
<p>④ 中の絶縁電線を引き出します。</p>	<p>⑤ 2線に分かれたところです。</p>	<p>⑥ 網目状の電線を軽くしごき、形を整えます。</p>

図 41



7

取付金具を固定する。 (図 38 参照)

- ・ フランジの穴にコードとコードストッパーを差し込んでください。
- ・ 取付金具をフランジにねじ込んでください。

8

トランスに電源線(別途)を接続する。 (図 39 参照)

- ・ 電源線(別途)をトランスの一次側の電線に、コネクター(接続端子)を使って接続してください。
- ・ コードをトランスの二次側の電線にコネクター(接続端子)を使って接続してください。
まずは、コードの長さを調整して、余った場合は、少し余裕をもってカットしてください。

(図 40 参照)

コードの先端の被服をむいて、トランスの二次側の電線と接続し、適切な処理を施してください。その際、トランスの二次側のプラスを内側の絶縁電線に、マイナスを外側の網目状の電線に接続してください。

※トランスの一次側と二次側を間違えるとショートの原因となり、大変危険です。

※トランスの個数は、灯数に合わせた必要数が同梱されています。

9

フランジを固定してください。 (図 41 参照)

- ・ トランスや電線、コネクター、落下防止チェーンをフランジ内に収め、フランジ固定ネジ(2本)を使って、取付プレートに確実に固定してください。

△ 注意 この作業の際、電線はフランジからはみ出したり、取付プレートとの間に挟まないようにしてください。正しく収納されないとショートの原因となり、大変危険です。

図 4 2

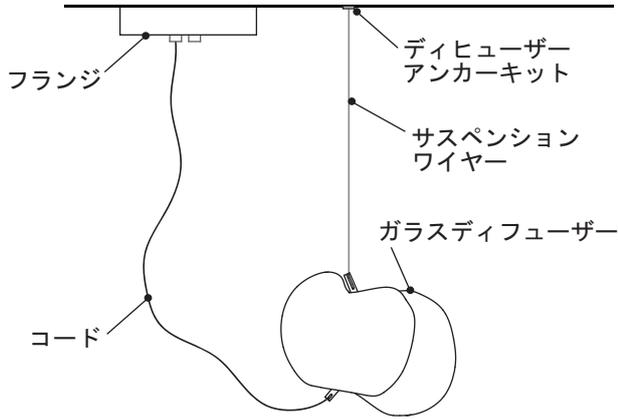


図 4 3

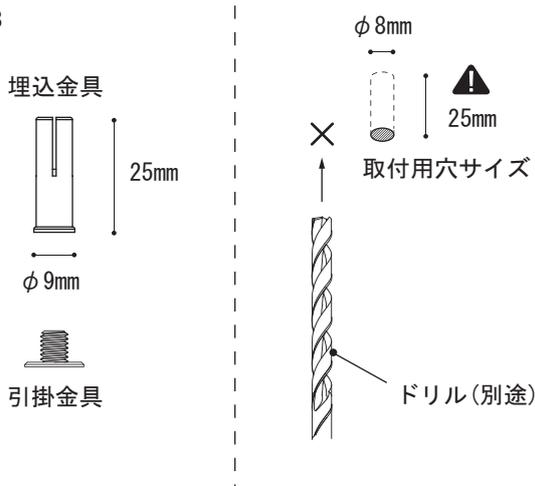


図 4 4

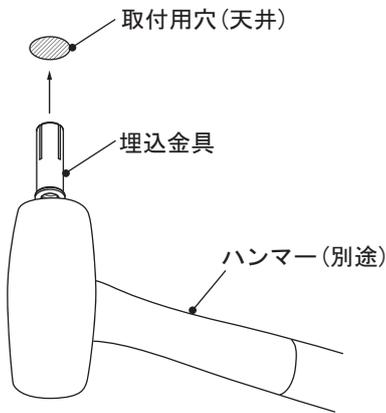
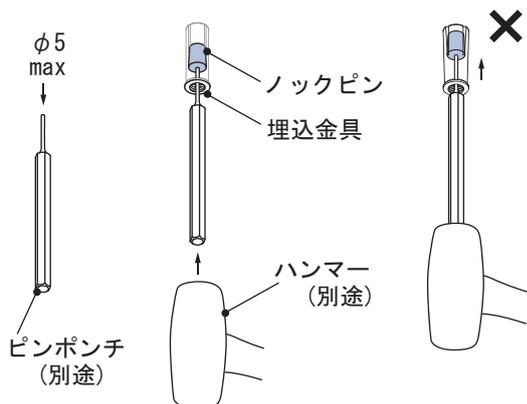


図 4 5



▶ 天井取付部の組立方法

【フランジから離れた位置にガラスディフューザーを吊るす場合】

- ・ガラスディフューザーアンカーキットをご用意しています。(図 42 参照)
コンクリート取付用と石膏ボード・木材取付用の 2 種類があります。

【ディフューザーアンカーキット(コンクリート取付用)を使つての取付方法】

1

天井に取付用穴を開ける。(図 43 参照)

- ・ディフューザーアンカーキット(コンクリート取付用)は、埋込金具と引掛金具、サスペンションワイヤーがセットになっています。
- ・埋込金具を取り付ける為の穴を天井に開けてください。
取付用穴のサイズは $\phi 8\text{mm}$ 、深さ 25mm です。

2

天井に埋込金具を差し込む。(図 44 参照)

3

埋込金具を固定する。(図 45 参照)

- ・先端が最大 $\phi 5\text{mm}$ までのピンポンチ(別途)を用意してください。
- ・埋込金具にノックピンを差し込み、ピンポンチを使って押し込んでください。

※押し込むのは、埋込金具の中間にしてください。

図 4 6

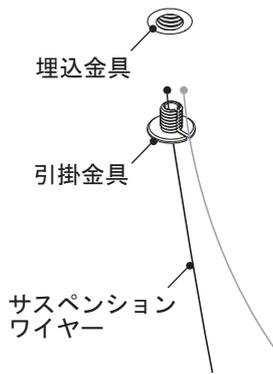


図 4 7

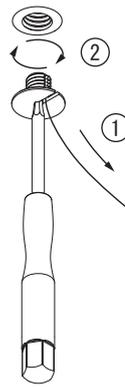


図 4 8



4

引掛金具にサスペンションワイヤーを引っ掛ける。
(図 46 参照)

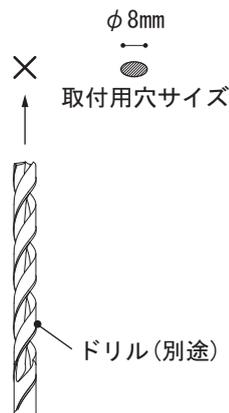
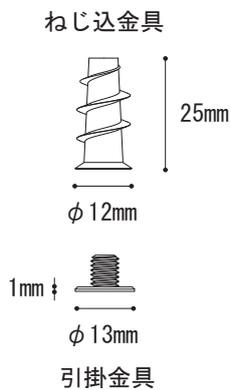
- ・サスペンションワイヤーの先端にある玉を引掛金具の溝に差し込んでください。

5

引掛金具を埋込金具に取り付ける。
(図 47 参照)

- ・サスペンションワイヤーを引っ張り、先端にある玉を引掛金具に引っ掛けてください。
- ・引掛金具を持ち上げ、埋込金具に合わせて、ねじ込んでください。
- ・引掛金具の中心穴からサスペンションワイヤーを垂らして、取り付けが完了です。(図 48 参照)

図 4 9



[ディフューザーアンカーキット(木材取付用) を使ったの取付方法]

1

天井に取付用穴を開ける。
(図 49 参照)

- ・ディフューザーアンカーキット(木材取付用)は、ねじ込金具と引掛金具、サスペンションワイヤーがセットになっています。
- ・ねじ込金具を取り付ける為の穴を天井に開けてください。取付用穴のサイズはφ8mmです。

※ 木材の下地は 12 mm以上の厚みとし、ねじ込み金具がしっかりと固定される位置にしてください。

2

天井にねじ込金具をねじ込む。
(図 50 参照)

図 5 0

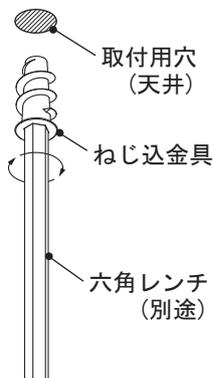
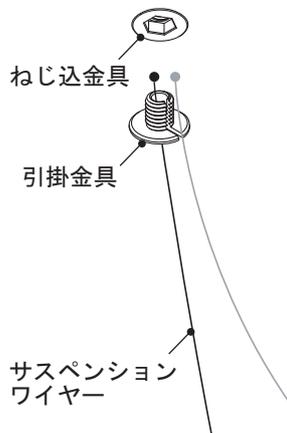


図 5 1



3

引掛金具にサスペンションワイヤーを引っ掛ける。
(図 51 参照)

サスペンションワイヤーの先端にある玉を引掛金具の溝に差し込んでください。

4

引掛金具をねじ込金具に取り付ける。
(図 52 参照)

- ・サスペンションワイヤーを引っ張り、先端にある玉を引掛金具に引っ掛けてください。
- ・引掛金具を持ち上げ、ねじ込金具に合わせて、ねじ込んでください。
- ・引掛金具の中心穴からサスペンションワイヤーを垂らして、取り付けが完了です。(図 53 参照)

図 5 2

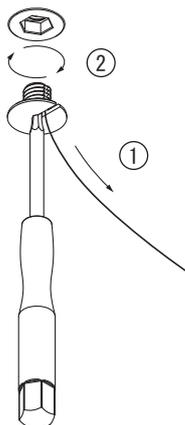
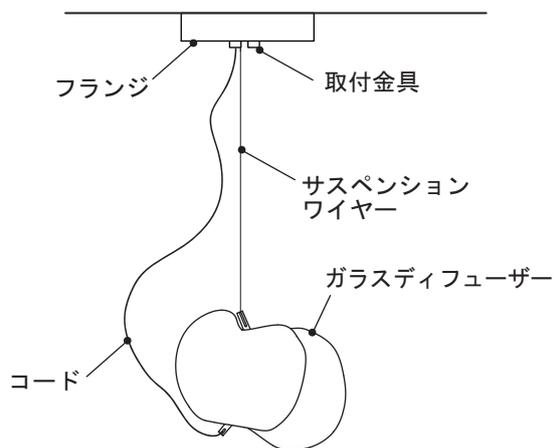


図 5 3



図54



【フランジの真下にガラスディフューザーを吊るす場合】

- ・フランジに付属する取付金具にサスペンションワイヤーを引っ掛けて吊ることが可能です。(図54参照)

1

取付金具にサスペンションワイヤーを差し込む。

(図55参照)

- ・サスペンションワイヤーの先端にある玉を取付金具の溝に差し込んでください。

2

取付金具にサスペンションワイヤーを引っ掛ける。

(図56参照)

- ・サスペンションワイヤーを下に引き、玉を取付金具に引っ掛けてください。

図55

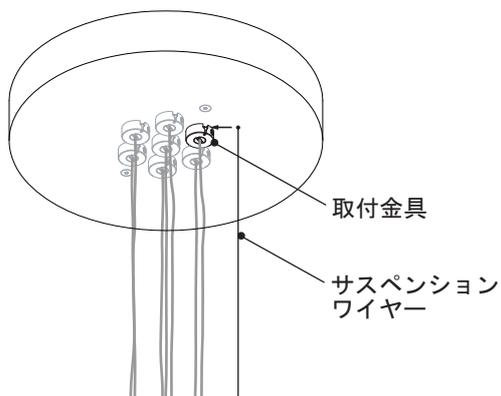


図56

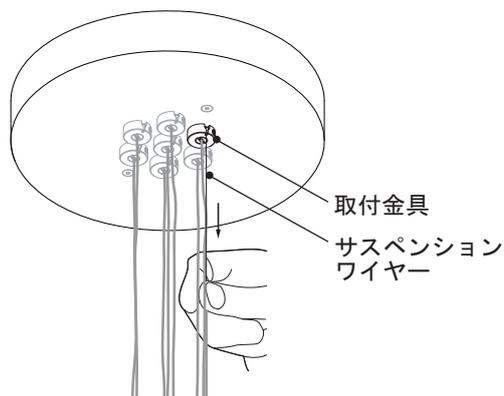
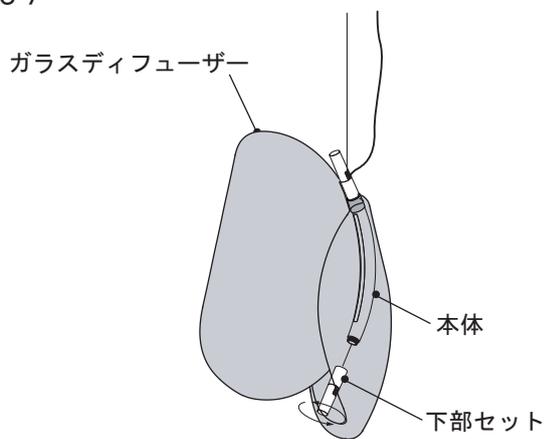


図57



【ランプの交換方法】

- △ **注意** 電源を切り、ランプの熱が完全に冷めるのを待ってから行ってください。

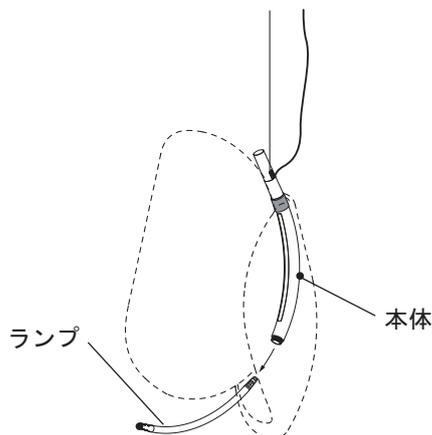
【コード・下出し】タイプ

- ・6、7ページにある取付順序12から21を逆の手順で行ってください。

【コード・上出し】タイプ

- [1] 本体にねじ込まれている下部セットを外してください。(図57参照)
- [2] 本体からランプを抜いてください。(図58参照)
- [3] 本体に新しいランプを入れて、下部セットをねじ込んでください。

図58



【お手入れ方法】

- ・ガラスディフューザーと本体、フランジは、柔らかい布で優しく拭いてください。
- ・汚れがひどい場合は、水につけてから固く絞った布で拭いてください。
- ・コードについては水拭きしないで、乾いた布で拭いてください。

使用についての安全上のご注意

△ 警告

	火災のおそれがあります <ul style="list-style-type: none">器具を布・紙等でおおったり、カーテン・揮発物等の燃えやすい物に近づけないでください。器具及び取扱説明書に表示されている適合ランプ以外は、使用しないでください。器具及び取扱説明書に表示されている電源電圧以外で使用しないでください。
	感電のおそれがあります <ul style="list-style-type: none">器具のお手入れの際には、必ず電源を切ってください。異常時（煙が出たり、変な臭いがする等）には、速やかに電源を切ってお買上げの販売店にご相談下さい。
	感電・火災のおそれがあります <ul style="list-style-type: none">器具及び部品の改造をしないでください。器具のすきまに、異物（金属類や燃えやすい物等）を差し込まないでください。

△ 注意

- この器具は屋内専用器具ですが、風呂場等の湿気や水気が多い場所では使用できません。屋外では使用しないでください。**感電・火災の原因**となります。
- 器具に水をかけたり、水の中につけて洗わないでください。**感電・火災の原因**となります。
- 器具の近くに温度の高くなるストーブや発熱体を置かないようにしてください。**器具の変形や火災の原因**となります。
- 点灯中及び消灯直後のランプ及びその周辺にさわらないでください。**やけどの原因**となることがあります。
- 器具の保守・お手入れ等で器具を回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。**器具落下の原因**となることがあります。
- グローブ、シェード及びランプの着脱は両手で静かに扱い、取付けは取扱説明書にしたがって確実に行ってください。取り付けが不完全な場合、**落下によるけが・物損の原因**となることがあります。
- 器具は定期的に（6ヶ月程度）保守点検をしてください。ネジや部品のゆるみ、損傷、着脱がないかお調べください。不具合があった場合はそのまま使用しないで、販売店に修理の依頼をしてください。
- 照明器具には寿命があります。設置後およそ8～10年経過しますと外観に異常が無くても内部の劣化は進行しています。3～5年に1回は、電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換ください。（一般に照明器具の寿命の目安は10年ですが、周囲環境温度等の使用条件に大きく影響されます。）

お願い

- ぬれた手で器具にさわらないでください。**感電の原因**となることがあります。
- ガラス・陶磁器類はこわれやすい材料です。お取扱いの際には両手で静かに行ってください。
- 器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー、ベンジン等の揮発物でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。**変色・破損の原因**となります。

屋内用

保守とお手入れ

△ 注意 必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因となります。

- 点灯中及び消灯直後のランプ及びその周辺にさわらないでください。**やけどの原因**となることがあります。
- 器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー・ベンジン等揮発物で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。**変色・破損の原因**となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたら、柔らかい布で仕上げてください。
- ぬれた手で器具に触らないでください。

ポッチ 日本総代理店

Studio NOI

スタジオノイ株式会社

107-0062 東京都港区南青山 2-18-2
竹中ツインビル B wing 2F
Tel. 03-5843-0260 Fax. 03-5843-0270
studio-noi.com